

情報セキュリティと個人情報保護について

情報セキュリティや個人情報保護はどうして必要なのでしょう？例えば交通ルールを知らずに運転すれば必ず事故に遭います。情報漏えい事故を起こさないためには、情報を安全に取り扱い、活用していくためのルールが必要です。そのためには情報セキュリティや個人情報保護のルールを一人ひとりが理解し、意識を高めていくことが重要です。仕事をする上で日頃から注意し、守るべきルールについて確認してみましょう。

情報セキュリティとは 情報を安全に守り、活用することです。

就業先の情報を外部に漏らさない。



製品開発、製造及び販売における企画、技術資料、
製造原価、価格決定等の情報
財務、人事等に関する情報
他社との業務提携に関する情報
携帯電話情報
a.テストモード情報
b.お客様情報 など



請負・派遣先での情報漏えい事故は、(株)ヒューマンアイの責任となります。
請負・派遣スタッフは「誓約書」第3条、第4条、第5条をご確認の上、署名・
押印をして(株)ヒューマンアイへ提出をお願いします。

データ破棄

データを破棄する時は、そのまま
ゴミ箱に捨てず、必ずシュレッダー
にかける。メディア(CD-RやUSB
メモリなど)は内部データを消去し
たり粉碎する。



データの持ち出し、持ち込みの時

重要なデータをPCやメディアに
保存して持ち出し、持ち込む時は、
情報を暗号化し、リストに日付、
内容などを記入し管理する。



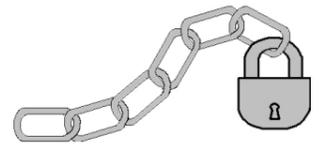
会社設備の私用禁止

パソコン、インターネット、メールなど、
会社の設備を業務以外の私的行為
に利用しない。



パソコン盗難防止措置

重要データ(特に個人情報)
の入ったノートパソコンは、盗
難防止のために、施錠できる
引き出しに入れるか、ワイヤ
ーで固定する。



パスワード設定

パスワードは他人に推測されない
ものを設定する。また他人に教え
たり、他人に見られる所に置か
ないようにする。



パスワード付スクリーンセーバー

離席中、他人にPCを覗かれたり、
操作されないようにパスワード付
のスクリーンセーバーを設定する。



メール送信時の注意

一度に同じ内容のメールを多数へ
発信する場合は、BCCに宛先を
入れて、他の受信者にメールアド
レスが閲覧できないようにする。



ウィルス対策

社内ネットワークに接続しているパ
ソコンには、ウィルス対策ソフトの
導入や、セキュリティパッチの適用
を行う。

